

230

こんにちは。塾長の大井です。

6期生受験戦記第15回です。

Mさんにも勝る連勝を重ねたのが、キャプテンのYくんでした。

それはまさに破竹の勢いと言っていい、快進撃でした。

帰国入試を活かして早い段階で合格を取りたい。それがご家庭の方針でしたが、私たちには大きな自信がありました。帰国入試の中には英語の力がモノを言う学校もありますが、Yくんは比較的低学年での帰国だったこともあり、当時は英語を得意とはしていませんでした。それでもYくんにはTOPで磨いた算数と、最後に大きな得点源になるまで伸びた国語がありました。この2科では帰国生の中でYくんに勝てるライバルはそうそういないだろう。それが私たちの自信の根拠でした。

12月から早めの入試が始まり、初戦は暁星中からのスタートでした。

再現答案は算国ともに期待できるものでしたが、英語はとても難しかったらしく、初戦を落しました。

それでも国語算数は堂々戦えると手応えをつかみ、「何も下を向くことはない。ここからの英語の無い入試は強気で臨め！」と励ましました。

Yくんは嬉しそうにうなずき、次戦に備えました。

そこから私たちの自信と期待は早くも現実となりました。

2戦目の都市大等々力で初合格を飾ると、年末には続いて広尾学園にも合格しました。これはメダル授与式を控えたチームにも、とてもいい風をもたらしました。

そしてTOP生として、キャプテンとして、私たちと満面の笑顔で合格を分かち合うYくんは心の底から嬉しそうでした。

年が明けてもYくんの勢いは止まらず、攻玉社も連取しました。そしてみんなの第一志望入試が迫る1月末、渋谷教育学園渋谷中に挑みました。言わずと知れた共学最難関です。

(第16回につづく)

2021年4月5日

大井 雄之